

「確実な培土と排水対策」「早めの雑草対策」「的確な病害虫防除」を徹底し、品質・収量の高い大豆づくりを目指しましょう！！

排水対策

◇培土作業は、土の上がりを良くするため可能な限りほ場が乾いている時に行い、特に2回目の培土では株元にしっかりと土をかけましょう。

◇培土作業でできた溝と額縁排水溝は必ず連結して排水口につなぎ、ほ場に停滞水を残さないようにしましょう。

雑草防除

◇培土後も残草がみられた場合は、雑草の種類や生育状況、また大豆の生育状況を確認し、適期に除草剤を散布しましょう。

対象雑草	薬剤名	10a当たり使用量	散布液量	使用方法	使用時期	使用回数
1年生 イネ科	ポルトフロアブル	200~300ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	イネ科雑草3~10葉期 ただし収穫30日前まで	1回
1年生 広葉	大豆バサグラン液剤	100~150ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	大豆2葉期~開花前 (雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	1回
1年生 雑草	バスタ液剤※ (非選択性除草剤)	300~500ml	100~150ℓ	畦間・株間 処理	本葉5葉期以降 ただし収穫28日前まで	3回以内

※バスタの散布では吊り下げノズルを用い、大豆に薬剤がかからないよう注意して散布してください。

○難防除雑草（帰化アサガオ類、イヌホオズキ類、ヒユ類）が増えています。早期発見に努め、見つけ次第速やかに防除（手取り除去、除草剤散布）してください。



マルバルコウ



マメアサガオ



アメリカアサガオ



イヌホオズキ類



ヒユ類

病害虫防除

~適期の病害虫防除により、高品質な大豆に仕上げましょう！~

防除体系	防除時期の目安		対象病害虫	薬剤名	10a当たり散布量
随時	7月下旬~8月上旬 (葉が巻き始めたら)		ウコンノメイガ	サイアノックス粉剤 (収穫7日前まで) プレバソンフロアブル5 (収穫7日前まで)	4kg 4,000倍 150~300ℓ
基本 (1回目)	莢が伸び きた頃	8月10日頃	紫斑病・カメムシ類	スミチオンペルコート粉剤 DL (収穫21日前まで)	3kg
基本 (2回目)	1回目の 10日後	8月20日頃	紫斑病・カメムシ類	Zボルドートレボン粉剤 DL (収穫14日前まで)	3kg

防除の際は、農薬使用基準を必ず守り、風向き等に注意し、周辺への飛散防止に努めましょう。

干ばつ時の畦間かん水

◇開花期から9月上旬頃までの水不足は、莢数や百粒重の確保に大きく影響するため、3日以上晴天日が続いたら、畦間かん水を行いましょう。

◇畦間かん水は、ほ場全体に水が行き渡ったら水口をしっかりと止め、速やかに排水してください。

畦間かん水の効果

1. 根粒活性の維持
2. しわ粒の軽減
3. 莢数や百粒重の確保
(減収を防ぐ)